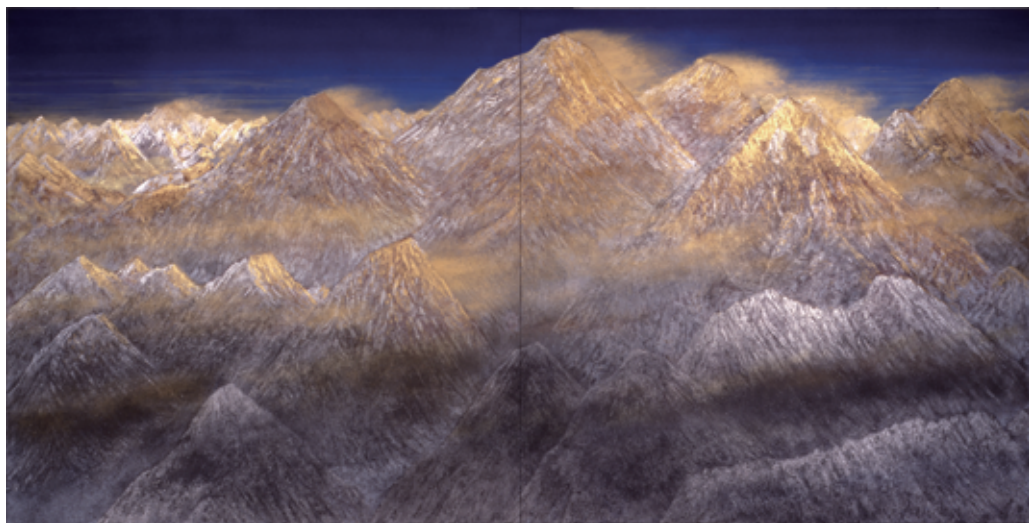




1



2



3



4

特別展覧会・郷土ゆかりの作家

## 日本画家 福王寺法林回顧展 遺志を継ぐ者 福王寺一彦

1：福王寺法林「祈る高砂族」1967（昭和42）年 紙本着彩 山形美術館蔵 2：福王寺法林「ヒマラヤの朝（エベレスト）」2000（平成12）年 紙本着彩 個人蔵  
3：福王寺一彦「三日月」2005（平成17）年 紙本墨画着色 個人蔵 4：福王寺一彦「月華舞う蝶」1995（平成7）年 紙本着彩 個人蔵  
1, 2：© Fukuohji Horin & JASPAR, Tokyo, Japan, 2014 / 3, 4：© Fukuohji Kazuhiko & JASPAR, Tokyo, Japan, 2014

日本の美術界に大きな足跡を残し、惜しくも2012年2月にこの世を去った日本画家福王寺法林と、その息子であり、同じ日本画の道を歩み続ける福王寺一彦の展覧会を開催します。

福王寺法林は、1920（大正9）年に山形県米沢市に生まれました。1936（昭和11）年に画家を志して上京するも、まもなく太平洋戦争が勃発し、兵役につきました。終戦後、米沢に戻った福王寺法林は日本画の制作に励み、1949（昭和24）年より日本美術院展覧会に出品し、1960（昭和35）年に日本美術院同人になりました。綿密な観察とスケッチをとおり、静謐で情感の漂う身近な暮らしや風景を描いた福王寺法林は、1974（昭和49）年のネパールとヒマラヤへの取材旅行を契機に、晩年に至るまで荘厳で神秘的なヒマラヤの風景を描き続けました。

1955（昭和30）年、東京都三鷹市に生まれた福王寺一彦は、幼いころから日本画に親しみ、高校を卒業後、本格的に日本画家として活動をはじめました。1978（昭和53）年に日本美術院展覧会に初入選して以降、インドやネパール、ヒマラヤ、ヨーロッパに取材した作品を制作し、1992（平成4）年に日本美術院同人となり、2000（平成12）年には日本藝術院賞を受けました。取材した土地と人々に目を向けた情緒ある田園風景や、幻想的な場面を構築する福王寺一彦は、父福王寺法林から画家としての志を受け継ぎながらも、独自の絵画世界をつくりだし、私たちに示してくれます。

本展では、福王寺法林と福王寺一彦の本画ととともに、その制作過程の一端をうかがい知ることのできる素描も加え、約60点を展覧いたします。

### 関連企画

#### ■アーティスト・トーク

4月26日（土）、5月6日（火・祝）、25日（日）  
日本画家の福王寺一彦氏が展覧会をご案内します。

#### ■ギャラリー・トーク

5月3日（土）、17日（土）  
担当学芸員が展覧会をご案内します。

時間：14:00～15:00

参加料：無料 ※ただし、入場には観覧券が必要です。

申込み：不要、会場へ直接お越しください。

### 会期中のイベント

#### 【ゴールデンウィーク企画】

■作って遊ぼう こどもの日スペシャル  
5月3日（土）、4日（日）、5日（月・祝）  
親子を対象に、こどもの日にちなんだ作品を作ります。

時間：10:00～12:00 出入り自由

会場：アトリエ

参加・材料費：無料

申込み：不要、会場へ直接お越しください。



※お車でお越しの際は、建物東側の市駐車場（市体育館跡地）が最寄りです（無料）。

## 鶴岡アートフォーラム

〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町13-3  
TEL:0235-29-0260(代表) FAX:0235-22-6051  
E-mail:info@t-artforum.net URL:http://www.t-artforum.net